

ショートハイドレーションの説明同意文書

ショートハイドレーション予定

福上 佳美様

抗がん剤の点滴時間短縮と水分摂取について

これまで抗がん剤治療の中でもシスプラチンを使用する場合は、副作用として腎臓の障害が高い確率で起こるため、必ず入院の上、大量の点滴をしていました。この大量の点滴は世界中で同じように行われてきましたが、近年さまざまな研究が行われ、必ずしも全員に大量の点滴は必要ないことがわかってきました。これにより、点滴時間が短縮され、外来通院治療でもシスプラチンを用いることが可能となりました。

しかし安全に治療を継続するためには、点滴のかわりに水分を経口摂取していただく必要があります。具体的な水分摂取の目標は以下の通りです。

水分摂取の目標

①1日目の抗がん剤点滴前～点滴中（病院で）

■起床後～診察前 10時までに

OS-1（オーエスワン） 500ml

このときはお茶・水での代用はできません。

■点滴開始後 10時～13時までに（3時間で）

OS-1（オーエスワン）または 水 または お茶等 500ml

②抗がん剤点滴のあと（帰宅後ご自宅で）

■1日目（抗がん剤点滴日）13時～2日目10時までに（21時間で）

OS-1（オーエスワン）または 水 または お茶等 500ml

■2日目10時～3日目10時までに（24時間で）

OS-1（オーエスワン）または 水 または お茶等 500ml

2日目、3日目はイメンド、デカドロンの内服もあります。

上記のOS-1（オーエスワン）は病院の売店、一般のドラッグストア、一部スーパーなどで購入いただけます。ご自分であらかじめ用意していただく必要があります。

「お茶等」の内容につきましては、糖分の入っていないお茶、コーヒー、紅茶などです。詳細は別途薬剤師から配布する資料を参照してください。



水分摂取の目標が達成されない場合の対応

抗がん剤治療の副作用である吐き気などのため、前述の水分摂取の目標が達成できない場合があります。水分摂取不足により腎機能障害が起こると、今後の治療に支障をきたす場合もあります。水分摂取が不十分な場合は点滴による水分補給が必要となります。今後も円滑に治療を進めていくため、水分摂取が不十分な場合は以下の対応をさせていただきます。

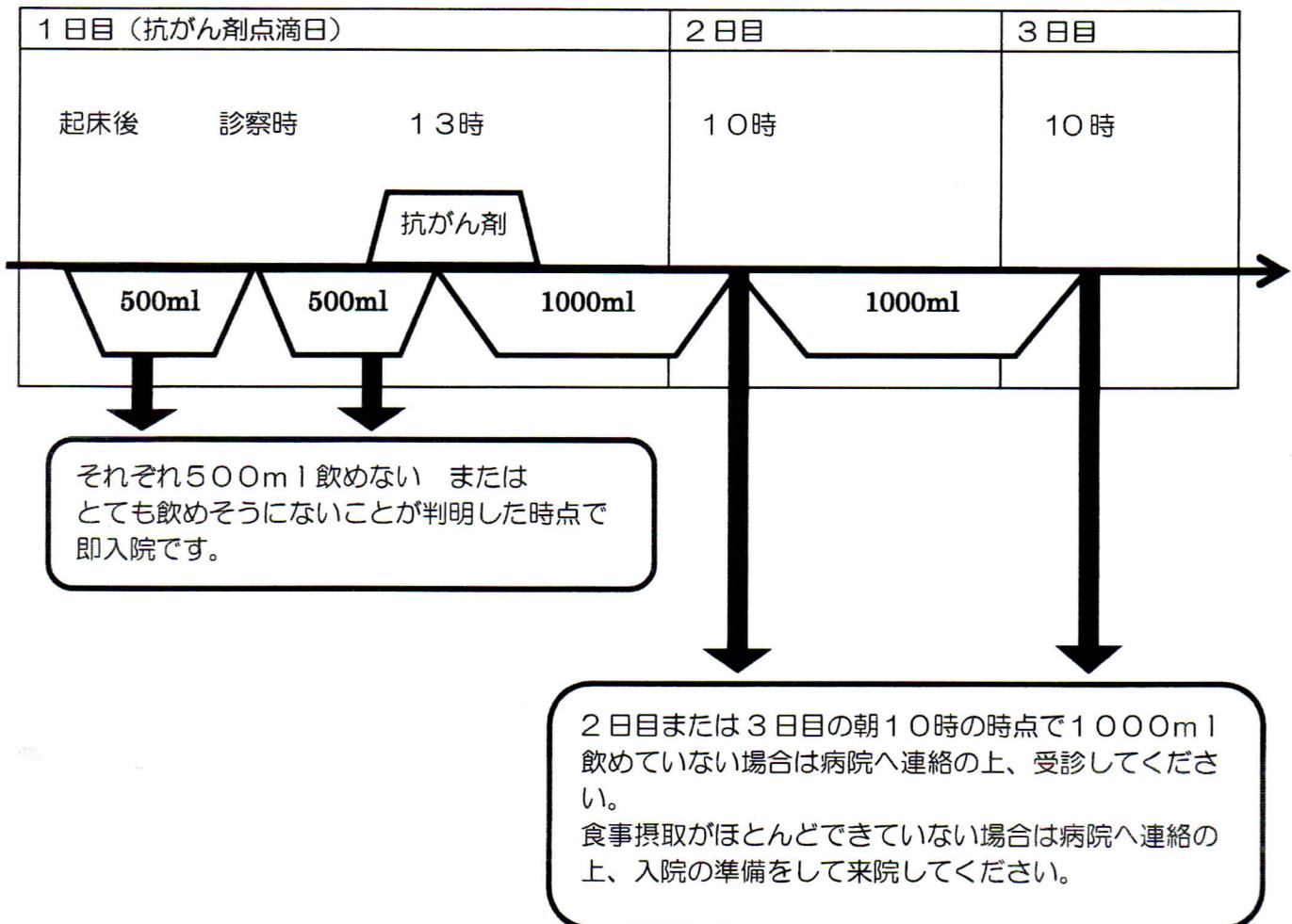
①抗がん剤点滴をする日（1日目：病院で）

起床後から診察までに500mlを飲めない、または10時～13時の間に500ml飲めない場合は、当日緊急入院となります。入院の上、点滴による水分補給を行います。水分摂取ができれば、翌日には退院となります。入院となる可能性があるため、初回の外来治療日は必ず入院の準備もしてきてください。

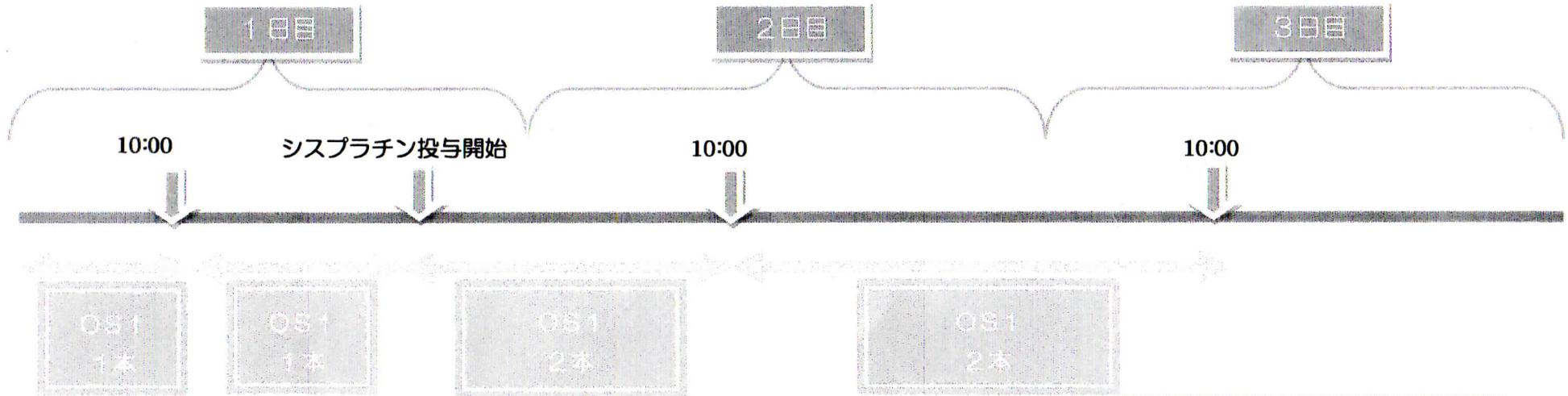
②抗がん剤点滴のあと（1日目の13時～3日目：ご自宅で）

点滴の翌日（2日目）または翌々日（3日目）に目標の水分摂取ができない場合、朝10時の時点で速やかに病院の内科外来へ連絡してください。病院へ受診いただき、外来で点滴による水分補給を行います。その際の診察は、当日の外来担当医が対応させていただきます。

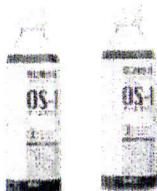
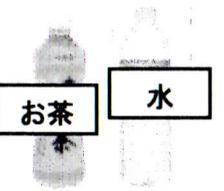
もし食欲低下や吐き気があり食事摂取が不十分な場合は、緊急入院となります。



水分をとりましょう



飲み物は何を飲んだらいいでしょうか？

◎		OS-1 500ml 2本
○		OS-1 又はスポーツドリンク 500ml 1本 水又はお茶 500ml 1本
△		水又はお茶 500ml 2本

入院中飲めない場合は医療スタッフに伝えて下さい。
その場合は、不足量を点滴で追加します。
(500ml1本飲めないときは輸液1本点滴)
(500ml2本飲めないときは輸液2本点滴)

外来患者

外来1日目シスプラチン投与開始までに2本飲めていない時は化学療法終了後に入院になります。

外来点滴時は当日朝 OS-1 を1本服用した状態で、9:00に薬局窓口にお越し下さい(副作用の確認をします。)

外来の方で自宅で飲めない場合は、午前中に主治医に連絡して下さい。(休日は当直医)

